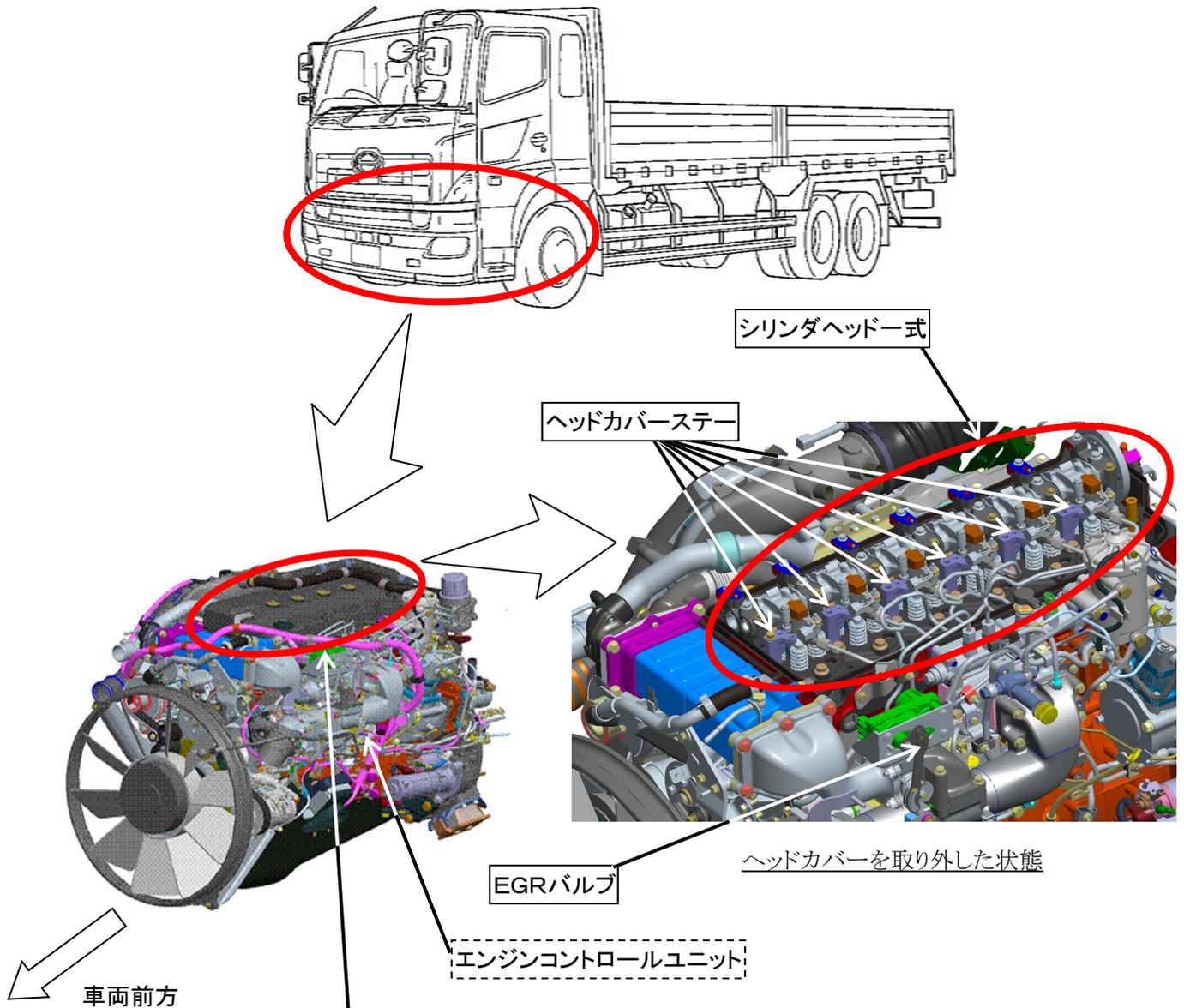


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

注： 内は交換または必要に応じて交換する部品を示す。
 内は制御プログラムを書き換える部品を示す。

大型トラックにおいて、エンジン制御プログラムと排気ガス再循環 (EGR) バルブの設定が不適切なため、DPR (排出ガス浄化装置) の手動再生が頻繁に中断された場合に、ポスト噴射による燃料がEGRクーラに廻り込み、カーボンデポジットが生成されて吸気バルブに付着し、そのままの状態では長時間駐車されるとカーボンデポジットの粘度が増加することがある。そのため、エンジン始動した際、吸気バルブが摺動不良となり、最悪の場合、バルブが折損し、異音が発生するとともにエンジンが停止するおそれがある。

改善の内容

全車両、エンジン制御プログラムを書き換えるとともに、EGRバルブを対策品に交換する。
また、ヘッドカバーステーを形状変更品に交換する。更に、部品交換作業後の点検で吸気バルブから異音が出ている場合は、シリンダヘッドー式を交換する。

識別： インテークパイプに白色ペイントを塗布する。